

中期経営計画「VG2.0」

未来を起点にしたロードマップ

オムロンは、2011年に10年間の長期ビジョン「Value Generation 2020 (VG2020)」を策定しました。2017年度にスタートした中期経営計画「VG2.0」は、その最終ステージの4年間であるとともに、VG2020以降の社会の変化も見据えた成長戦略です。

VG2.0の策定にあたっては、これからの世界の潮流や社会の変化を見通し、未来を予測するオムロン独自のサイニック理論や国際的な取り組みであるSDGs*等を考慮し、未来を起点として戦略に落とし込みました。

オムロンの強みを発揮しながら、社会的課題の解決を通じて、事業成長が見込める大きな市場として「ファクトリーオートメーション (FA)」「ヘルスケア」「ソーシャルソリューション」を注力ドメインとし、お客様やパートナーとのオープンイノベーションにより、ソーシャルニーズの創造に取り組んでまいりました。

新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、2020-2021年度の2年間は、ウィズコロナの期間が続くことを前提に、事業継続と収益確保に向けた危機対応を最優先します。そのうえで、「変化対応力の最大発揮による成長への事業構造転換と収益力の最強化」を基本スタンスに、ニューノーマル時代における持続的な成長を実現するための事業変革を加速させ、この2年間で次期長期ビジョンにつなげる「変革期」とします。次期長期ビジョンは、2022年度よりスタートします。

深刻化する社会的課題



労働力の不足
モノづくりの変化への対応



事故・渋滞の多発
都市環境の悪化



高齢化の加速
医療費の高騰



温暖化の加速

急速な技術革新



AI



IoT



ロボティクス

企 業

サ ス テ ナ ビ

VG2.0

事業戦略

1. 注力ドメインを再設定し事業を最強化
2. ビジネスモデルの進化
3. コア技術の強化

パートナーとの協創

運営機能戦略

人財マネジメント、ものづくり・環境
リスクマネジメント

* SDGs: 国連が採択した持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals) の略

VG2.0と連動するサステナビリティ課題への取り組み

オムロンでは、サステナビリティ方針のもと2017年度にサステナビリティ重要課題を設定しました。これは、VG2.0で設定した注力ドメインにおいて解決すべき社会的課題と、VG2.0の遂行を支える事業基盤を強化し、ステークホルダーからの期待に応える課題の二軸で構成されています。これらの課題に対して2020年度の目標を設定し、その達成に向け、2017年度より各取り組みを進めています。また、同年導入した役員向けの新たな中長期業績連動型株式報酬の評価項目には、VG2.0の業績目標の達成度に加えて、第三者機関の評価に基づくサステナビリティ指標*を組み込みました。

このようにオムロンは、VG2.0とサステナビリティ課題への取り組みのベクトルを一致させ、持続的な企業価値の向上を目指しています。 [P31 →](#)

理 念

リ テ ィ 方 針

サステナビリティ重要課題

事業を通じて解決する社会的課題 [P33 →](#)

FA



ヘルスケア



ソーシャルソリューション



パートナーとの協創 [P33 →](#)



ステークホルダーの期待に応える課題 [P31 →](#)

人材マネジメント



ものづくり・環境



リスクマネジメント



2020-2021年

次期長期ビジョンにつなげる変革期

- 事業継続と収益確保に向けた危機対応
- 持続的な成長を実現するために事業変革を加速

2030年国際社会共通の目標 (SDGs)



http://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/

* サステナビリティ指標 : Dow Jones Sustainability Indices (DJSI) に基づく評価